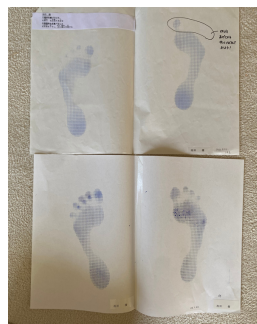


# 発達通信

近年における深刻な子供の姿勢問題を、より素早く改善するために開始した  
「足育改善」を一挙大公開！  
忙しい現場の手間は最小限！取り組みと確かな変化が見える化できます。

## WHAT'S DO?



1人1人の計測結果をデータ化し、  
個別の現状・課題/クラス全体の  
取り組み課題をまとめて  
ファイリング！  
こちらは大変喜ばれています♪

フットプリンターを使用し、足底圧を計測します。  
(現地訪問・機材無料レンタルにて計測しています)



足裏の柔らかさ・硬さの評価ではなく、左右差や足裏の特徴を見ていきます。



ゆっくり、少しずつ股関節をまわしていきます。

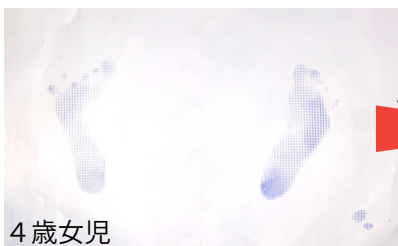


ピョントレーニングは目の運動なので、頭が動かないようにご注意ください。

取り組みは、導入補助動画をお送りしているので、動画を参考に簡単にサポート可能！

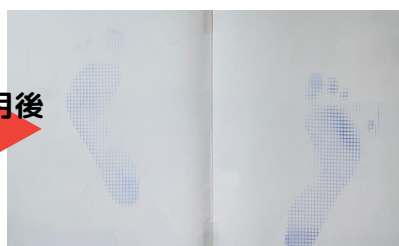
## BEFORE ⇔ AFTER

感覚運動遊びの動画も  
お送りしています！

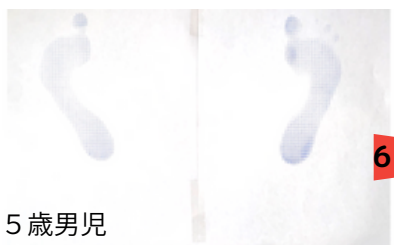


4歳女児

1ヶ月後



初回測定時に左右巻指で力みが強いのが特徴  
左は外2本の力みが強く外重心になるバランスを親指で支え、右は親指で強く握り外重心でしたが、1ヶ月間の取り組み後、右は足指が全て正常に整い、左は力みの強かった外2本がやや緩み、親指が真っ直ぐ下りるようになりました。



5歳男児

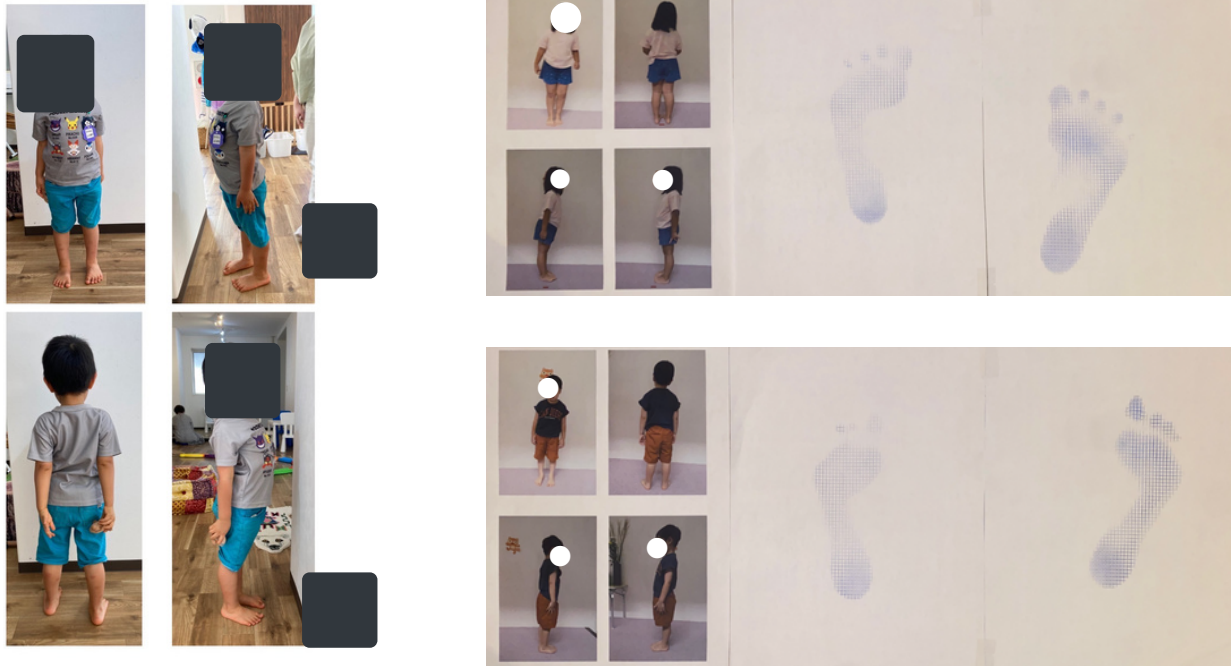
6ヶ月後



初回測定時、右重心で左は親指以外が浮指でしたが、合計3回の計測を経て、6ヶ月後には左右の重心バランスの偏りがなくなり、足指もしっかり下りるようになりました。

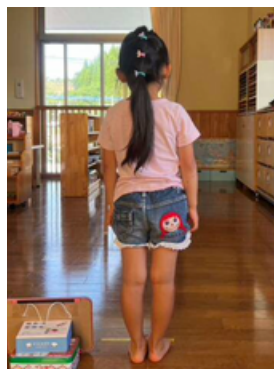


## 深刻化する姿勢問題の実情



### 【真っ直ぐ立てない子供が8割を占める現実】

年々この割合は増加傾向にあり、教育現場でも問題となっていますが、「軸がないから体幹トレーニングをしましょう！」と解決する問題ではなく、根本的土台である足裏のバランスを調整するところから行わなければいけません。足裏の感覚が偏っていると、その上にくる重心はどんどん傾きます。積み木をイメージしてもわかるように、積み上がっていくための段階をきちんと整えなければ、頭頂が真っ直ぐ存在できません。



日常生活や運動遊びで気になる子は、病で例えるならステージ4まで来ていると行っても過言ではなく、体の使い方や姿勢に現れる問題は、脳内の偏り、ワーキングメモリの弱さや発達への影響を意味しています。まずは子供の立位4方向を撮影し、現状把握を試みるのもオススメです。

運動遊びや●●式などの取り組みを導入している場合も、子供それぞれの足裏・体の使い方の癖のままで行なっているため、弱い部分は一向に強化されず、偏りのある部分が目立つ方向に育ちます。

「足育改善」では、そんな子供たちの現状把握を足裏から行い、確実な変化を実現します。

# 未来への姿勢改善を！